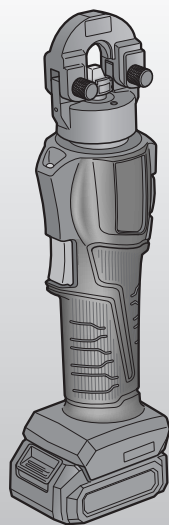


取扱説明書

充電 圧着器<プロ用>

品番 EZ1W31F10S
EZ1W31X



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意.....	2～7
商品登録について.....	8
各部のなまえ.....	9～11
・付属品・別売品.....	11

ご使用前に

充電する.....	12～13
準備.....	14～15
圧着器:準備.....	16～17
圧着器:作業.....	18～19
圧着器:作業終了.....	20
ケーブルカッター:準備.....	20～21
ケーブルカッター:作業.....	22
ケーブルカッター:作業終了.....	23

使いかた

お手入れ・保管.....	24
--------------	----

お手入れ・保管

電池パックについて.....	25
能力.....	26
仕様.....	27

お知らせ




故障かな?と思ったとき.....	28～30
保証とアフターサービス... 31～裏表紙	

点検方法



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いをしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるようにしない。
- 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
- 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
- 分解、修理、改造をしない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
- 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
- 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
- 劣化した電池パックは使用しない。
- 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
- 腐食性のガスのある場所で使用しない。

発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止



必ず守る

- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

警告

- アタッチメントの交換時、本体保管時は必ず電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
- 本体の油や電池パックの液が漏れたときは、素手でさわらず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
 - ・油や液を吸入すると、人体に危険をおよぼすおそれがあります。屋外などの新鮮な空気の場所に移動し休息したあと、医師にご相談ください。
 - ・油や液を飲み込むと人体に危険をおよぼすおそれがあります。きれいな水で口の中を十分洗い流し、嘔吐がある場合無理に吐かずに、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした本体や電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。
- 作業個所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。
埋設物に触れると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。



必ず守る

 **警告**

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにピストンロッドを最下点まで下げて電池パックを抜いて、ご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっていないか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。
そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
守らないとけがをするおそれがあります。
- 作業する場所は十分に明るくする。
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
- 加工するものはしっかり固定する。
不意に動き、けがをするおそれがあります。
- 2本の脱着ピンは確実に差し込む。
本体が破損し、けがのおそれがあります。
- ピストンロッド部の圧着完了ラインが完全に見えるまで操作を行なう。
圧着不良で火災などのおそれがあります。
- 電池パックは黄色表示が見えなくなるまでスライドさせ、カチッとフックがかかる音がするまで押し込み、はずれないことを必ず確認する。
守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。
- きちんとした服装で作業する。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ダイスやケーブルカッター刃は取扱説明書にしたがって確実に取り付ける。
本体の破損やけがのおそれがあります。
- メスダイス開閉時にメスダイスと本体の間に指をはさまないように注意する。
けがのおそれがあります。
- ケーブルの種類により切りかすが跳ねることがあるので十分注意する。
けがのおそれがあります。



必ず守る



 **警告**




- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
- 換気の良い場所で充電しない。
- 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。
- 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。
発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。
身体に害を及ぼすおそれがあります。
- 充電器の風穴をふさがない。
やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
- 充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。
- 作業直後は先端工具類や切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しない。
健康に悪い影響を与えるおそれがあります。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質ですので、十分注意してください。
- ヘッド部を人に向けて使用しない。
けがのおそれがあります。
- 通電中の電線には使用しない。
感電のおそれがあります。
- 作業中は可動部に触れない。
けがのおそれがあります。
- 指定の端子・スリーブ以外には使用しない。
圧着不良で火災などのおそれがあります。
- 切断途中に、ケーブルを動かさない。
けがのおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しない。
けがをするおそれがあります。



禁止

 警告			
 禁止	●LEDライトを懐中電灯として使用しない。 十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。		
	●LEDライトの光を直接目に当てない。 LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。		
	●本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。		
	●ケーブルカッター刃交換時は、刃に触れない。 けがのおそれがあります。		
	●切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業をしない。 けがのおそれがあります。		
	●可動部のすき間に指を入れない。 けがのおそれがあります。		
 分解禁止	●改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社で相談窓口にご相談ください。	 ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
 水ぬれ禁止	充電工具は、下記のような取り扱いをしないでください。 ●雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。 ●水に浸かるような使用をしない。 発煙、発火、破裂のおそれがあります。	 電源プラグを抜く	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

 注意	
 禁止	●子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。 ●本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。

 注意	
 禁止	●モータがロックするような無理な使いかたはしない。 発煙、発火のおそれがあります。
	●無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
	●疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。
	●子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。
	●本体を放り投げない。 故障のおそれがあります。
	●カラ押しをしない。 故障のおそれがあります。
	●刃が閉じる前に荷重が加わるような切断はしない。 ●刃先端部でケーブルを挟み込まない。 故障のおそれがあります。
	●本体のネジをゆるめない。 規定の油圧力(出力)が出ず、圧着不良や本体の故障のおそれがあります。
	●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。 守らないとやけどをするおそれがあります。 複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
	●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
 必ず守る	●使用前に、本体、電池パック、充電器およびアタッチメントやその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
	●作業する場所はきれいに保つ。 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
	●取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	●屋外で充電する場合は、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用する。 守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。 使用前にコードの破損が無い点検してから使用してください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



商品登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

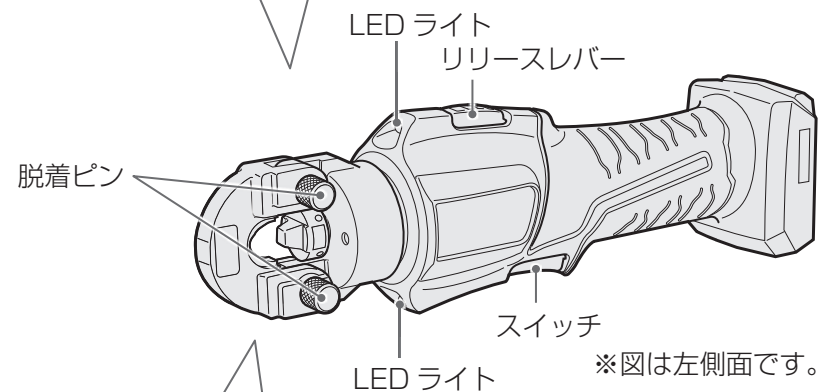
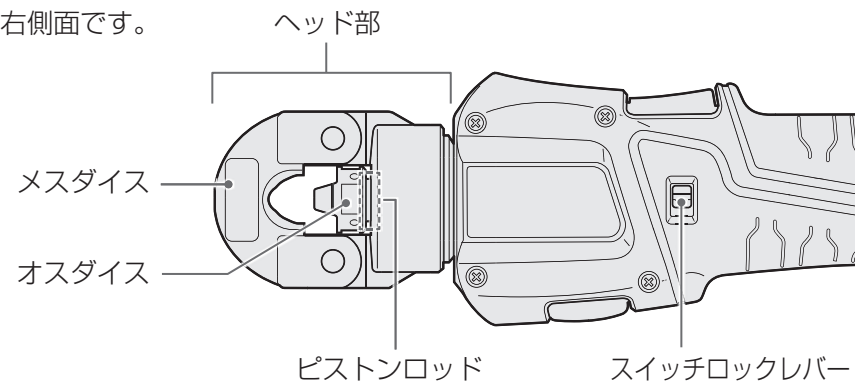
432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。

※他の製品をご登録の場合、WEB サイトをご参照ください。

本体

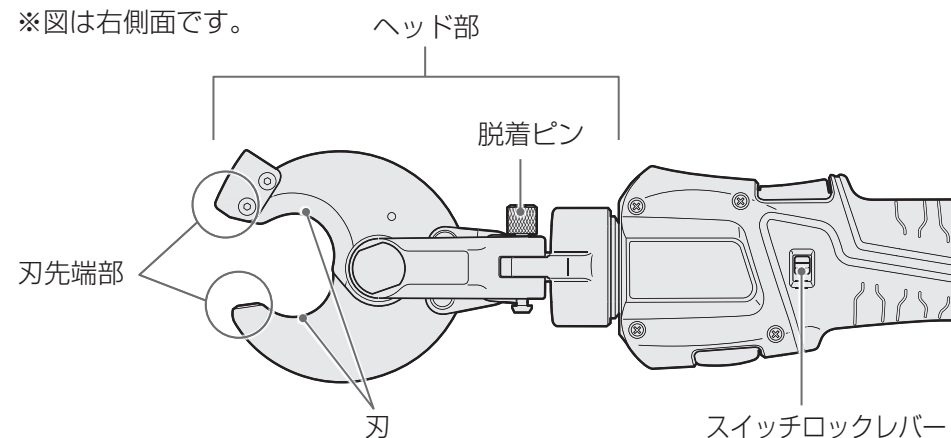
※図は右側面です。



※図は左側面です。

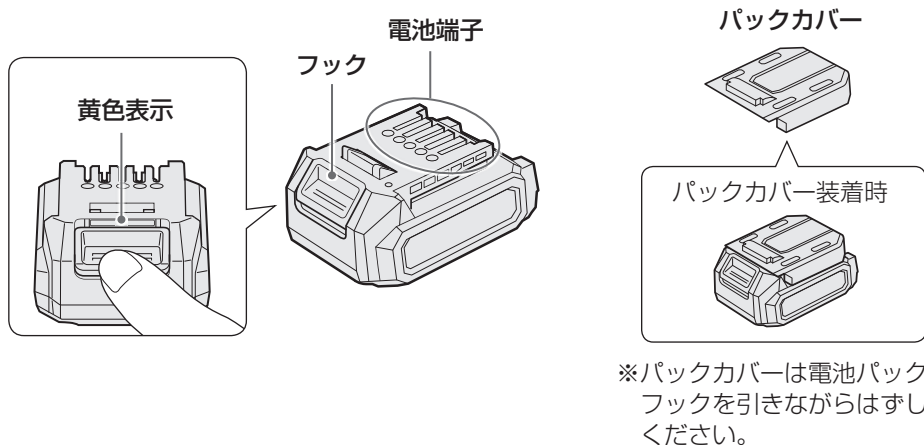
ケーブルカッター刃(EZ9X350)取り付け時

※図は右側面です。

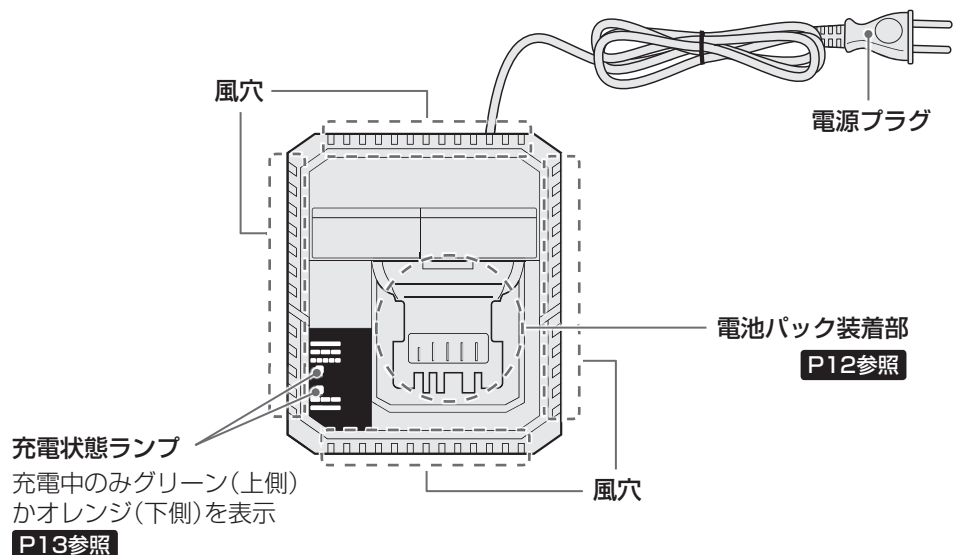


各部のなまえ(つづき)

電池パック (EZ1W31Xには付属していません)



充電器 (EZ1W31Xには付属していません) P12参照



別売品は販売店でお買い求めいただけます。


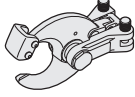
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



付属品・別売品

商品	付属品		別売品の有無
	EZ1W31F10S	EZ1W31X	
充電器 	○	—	○ EZ7L10A
電池パック (リチウムイオン電池) 	○	—	○ EZ8L1020FA
バックカバー 	○	—	○ EZ8L10R2781(※)
プラスチックケース 	○	—	○ EZ9K02
オスダイス 14-38 	○	○	○ EZ1W31F7101(※)
オスダイス 60 	○	○	○ EZ1W31F7201(※)
メスダイス (14-60 mm ²) 	○	○	○ EZ1W31F7001(※)
ケーブルカッター刃 	—	—	○ EZ9X350

※ 補修用部品としてお買い求めできます。

充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

充電の前に

充電器は4℃～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。
電池パックの温度が4℃～12℃で充電するとフル充電完了しても通常の約80%程度の充電となることがあります。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを傷めないよう、電源プラグを抜いたときには必ず電池パックを取りはずしてください。

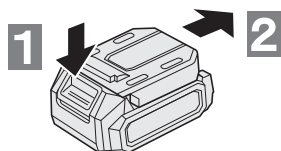
お知らせ

- 電池パックの温度が4℃～12℃でも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P13参照**
- 電池パックを挿したまま電源プラグを抜いた後、充電状態ランプが数秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

パックカバーの取りはずしかた

- 1 電池パックのフックを押す
- 2 フックを押した状態でパックカバーをスライドさせて取りはずす



充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

1 コンセントに電源プラグを差し込む(AC100V専用)

充電状態ランプのグリーンとオレンジが同時に1回点滅する。(コンセントからプラグを抜いてすぐに挿し直すと点滅しないことがあります。これは異常ではありません)

2 電池パックを充電器に装着する

- ① 電池パック装着部に入るよう電池パックを矢印の方向に押す
- ② 電池パックのフックが充電器の爪にかかり、カチッと音がするまで押し込む

充電状態ランプ▶充電状態を表示

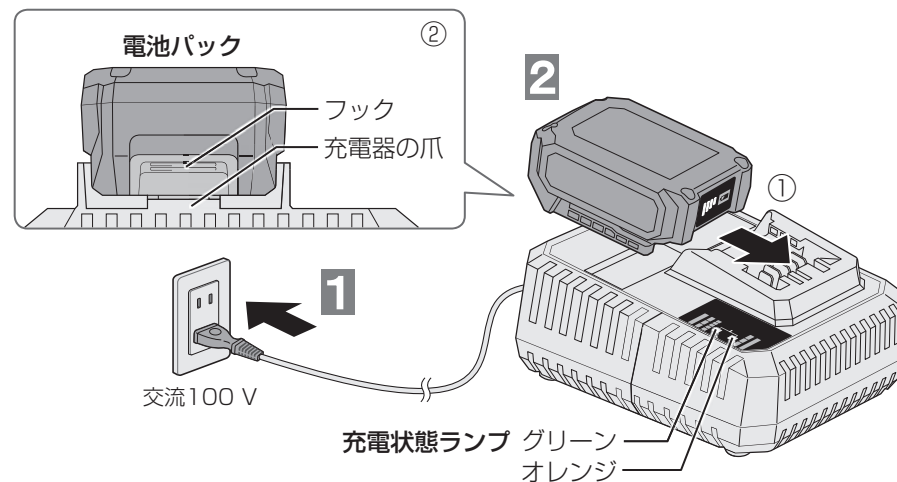
P13参照

実用充電とフル充電について

- 実用充電:** フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。
- フル充電:** 実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は **P27参照**

3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く



充電状態ランプの見かた

■ 点灯 ■■■ 遅い点滅 ■■■■■ 速い点滅 □ 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
■	□	充電中
■■■	□	実用充電完了
■■■■■	□	フル充電完了
□	■■■	保護待機中*
□	■	保護充電中*
■■■■■	■■■■■	充電不可

電池パックの温度が高いとき(57℃以上)、または低いとき(4℃以下)
▶電池パック保護のため、充電は行ないません。
▶温度が高いとき:電池パックを冷却後、充電します。
▶温度が低いとき:電池パックの温度が上がった後に、充電します。

- 充電器が4℃～40℃の場所に設置されていることを確認してください。
- 保護待機中にランプが消灯することがありますが故障ではありませんので、そのまま充電を続けてください。

電池パックの温度が低いとき(12℃以下)
▶電流を下げて電池パックにやさしく充電します。
● 12℃以下の電池パックを充電するとフル充電完了しても通常の約80%程度の充電となることがあります。

電池パックの故障
▶別の電池パックに交換してください。

※電池パックの温度が9℃以下で保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。

準備中・作業後のご注意

警告

- アタッチメントの交換時、本体保管時は必ず電池パックを本体からはずす。守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

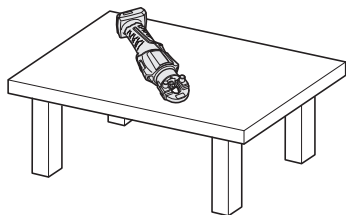
作業中のご注意

注意

- 本体のネジをゆるめない。規定の油圧力(出力)が出ず、圧着不良や本体の故障のおそれがあります。
- 使用前に、本体、電池パック、充電器およびアタッチメントやその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。守らないと破損などによりけがをすおそれがあります。

ご注意

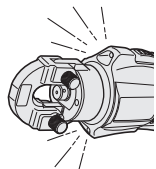
- ダイスやケーブルカッター刃の交換は、作業台などの安定した所に置いて行なってください。アタッチメントが落下してけがのおそれがあります。



お知らせ機能について

工具寿命お知らせ機能

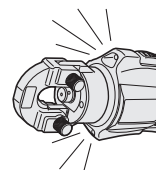
- この工具は、10000回の作動回数を目安として設計されています。
- 作業回数が10000回を超えるとスイッチを離れたあと10秒後にLEDライトが2回点滅して消えます。



この機能が働きましたら使用しないでください。

電圧低下お知らせ機能

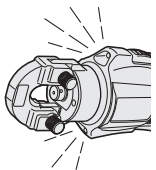
- 電池残量が少なくなる、電池電圧が低下すると過放電防止機能がはたらき、動作が停止します。本体のLEDライトが1秒間に1回のペースで点滅します。



すぐに電池パックを充電してください。

高温お知らせ機能

- 電池パックが高温になると保護機能はたらき、動作が停止します。本体のLEDライトが1秒間に2回のペースで点滅します。

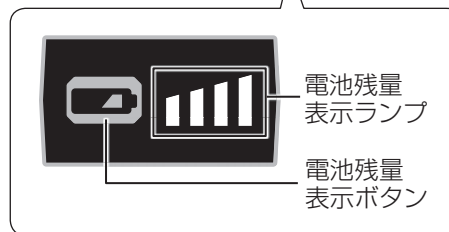
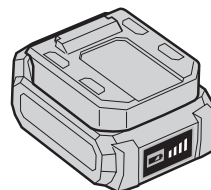


作業を中断し、約30分以上放熱させ、高温お知らせランプが消灯してから使用してください。

また、保護機能がくり返しはたらくような作業は行なわないでください。

- 夏場は保護機能が働きやすく、また、冬場は保護機能が働きにくくなります。

電池残量表示機能について



電池残量表示ボタンを押している間、電池残量を4段階で表示します。

次の場合は、電池残量表示ボタンを押しても、ランプが正しく表示されません。

- 電池パック内に水や粉じんが浸入している。
- ➔ 作業を中断し、使用を停止してください。

電池残量表示	残量の目安
	4本点灯 満充電です。
	3本点灯 充分残量があります。
	2本点灯 約半分程度残量があります。
	1本点灯 残量が少なくなっています。早めに充電してください。

- 電池残量表示は目安です。電池パックの状態や周囲温度などにより、表示内容が変化することがあります。

作業中のご注意

警告

- 指定の端子・スリーブ以外には使用しない。
圧着不良で火災などの原因になります。
- 2本の脱着ピンは確実に差し込む。
本体が破損し、けがのおそれがあります。
- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。

- 本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤動作をおこす可能性があります。誤動作がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

1 圧着する端子・スリーブに合ったダイスを選定する

誤った組み合わせにするとダイス破損のおそれがあります。

組み合わせ表

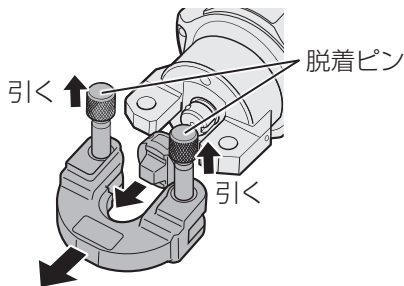
端子・スリーブの呼び	オスダイス	メスダイス
14	14-38	14-60
22		
38		
60	60	

JIS規格に準じた端子・スリーブを使用してください。

- JIS C 2805銅線用裸圧着端子
- JIS C 2806銅線用裸圧着スリーブ

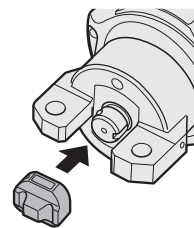
2 ダイスを交換する

① 脱着ピンを引き出し、メスダイス、オスダイスをはずす。



② オスダイスを取り付ける。

※手順1の組み合わせ表より選定したオスダイスをピストンロッドに装着します。このときオスダイスは適合サイズが正面になるように取り付けてください。14と22・38は取り付け方向が異なります。

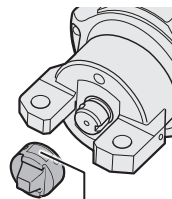


オスダイスは本体に確実に差し込んでください。

※ピストンロッドの初期高さは製品によって多少上下差がありますが圧着性能に影響はありません。

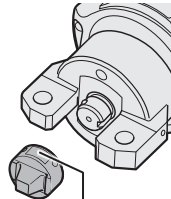
オスダイス 14-38の場合

適合サイズ 14で装着する場合



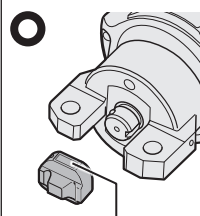
「14」の刻印が見える向きで装着する

適合サイズ 22・38で装着する場合

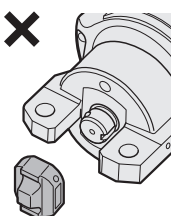


「22・38」の刻印が見える向きで装着する

オスダイス 60の場合

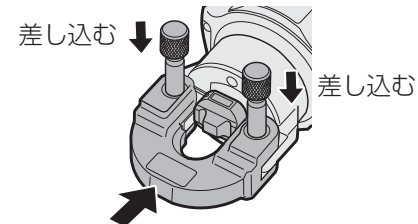


「60」の刻印が見える向きで装着する

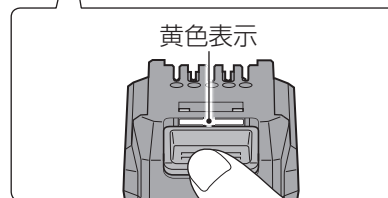
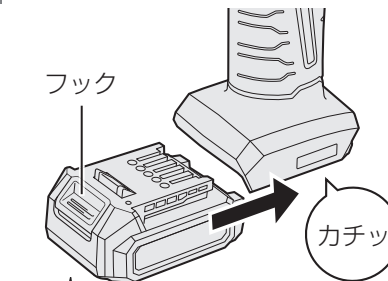


刻印のない向きでオスダイスを装着しないでください。圧着性能が悪くなったり、故障の原因になります。

③ メスダイスを取り付け、脱着ピンが突き当たるまで確実に差し込む。



3 電池パックを取り付ける



- 黄色表示が見えなくなるまでスライドさせ、カチッとフックがかかる音がするまで押し込み、はずれないことを必ず確認してください。

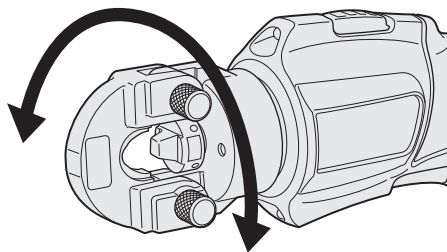
警告

- 作業中は可動部に触れない。けがのおそれがあります。
- 通電中の電線には使用しない。感電のおそれがあります。

- カラ押し操作(部材を入れない状態での圧着動作)はしないでください。ダイスの破損および本体の寿命に影響します。(本体を長くお使いいただくためにも定期点検以外はカラ押し操作はしないでください)

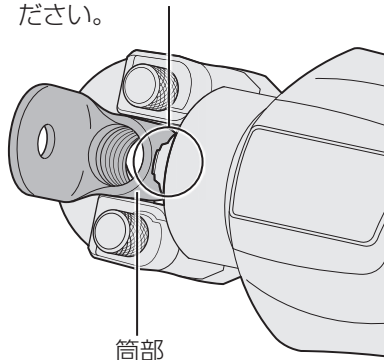
1 ヘッド部を作業しやすい角度に調整する

- ヘッド部を左右に回転させて調整してください。



2 スイッチを軽く引き、端子・スリーブの仮押えをする

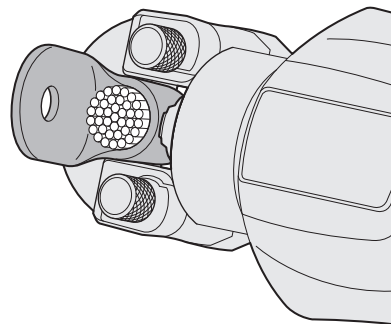
- オスダイスが端子・スリーブ筒部の中央にあたるように保持してください。



- 電池残量が少ない状態で起動すると、LEDライト点滅での電圧低下お知らせをせずに本体が動かなくなる場合があります。電池残量が不足していますので、電池パックを充電してからご使用ください。
- リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0℃～40℃です。寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

3 仮押えした端子・スリーブに電線を差し込む

- 心線がわずかに見える位置まで差し込んでください。



4 スイッチを引き込み圧着を行なう

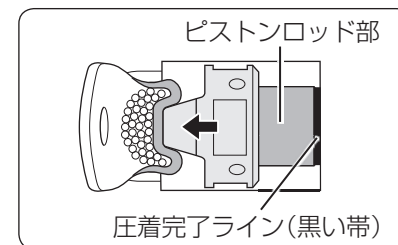
- ポンプが規定の圧力に達すると「ボン」と確認音となり圧着完了です。繰り返しても圧着効果は変わりません。
- スイッチを離すとLEDライトが10秒間点灯します。

警告

- LEDライトを懐中電灯として使用しない。十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
- LEDライトの光を直接目に当てない。LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

5 圧着状態を確認する

- 作業完了後、ピストンロッドに適正な圧着力を示す圧着完了ラインがあらわれているか確認してください。



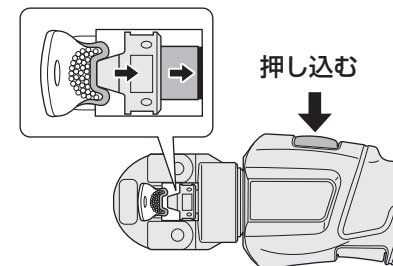
操作を続けても圧着完了ラインが見えないときは、一旦作業を中止し電池パックを充電してください。充電後、作業を再開しても圧着完了ラインが見えないときは故障のおそれがあります。ただちに修理をご依頼ください。P31参照

警告

- 圧着完了ラインがあらわれていないときは、作業をすぐに中止し修理に出す。圧着不良を起こし発熱して火災事故をまねくおそれがあります。

6 リリースレバーを押し込みオスダイスを戻す

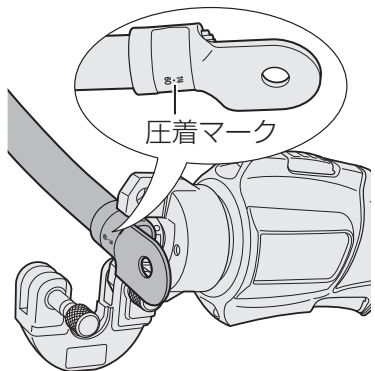
- オスダイスの動きが止まったらリリース完了です。リリースレバーを離してください。



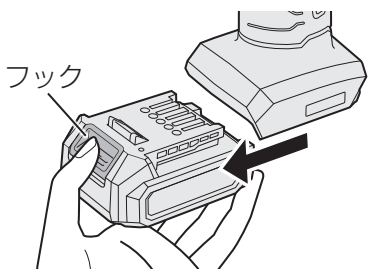
圧着器:作業終了

1 メスダイスを開いて 圧着した端子・スリーブを 取り出す

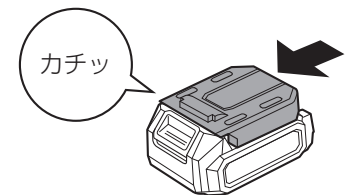
- 端子・スリーブの圧着部分には、
圧着マークが表示されています。



2 フックを引きながら電池パック を本体前方にスライドさせて、 電池パックをはずす



- 電池パックを本体から取りはずし
たら電池端子部分への塵・埃の付
着防止のため、すみやかにパック
カバーを取り付けてください。



パックカバーをスライドさせて
フックがカチッと音がするまで
押し込む

ケーブルカッター:準備

作業中のご注意

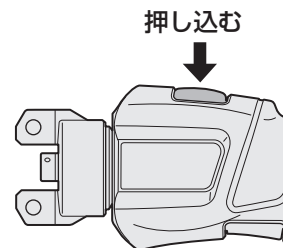
警告

- 使用中は振り回されないよう本体を
確実に保持する。
けがのおそれがあります。
- 高所作業のときは、下に人がいない
ことをよく確かめ、本体が落下しな
いようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれ
があります。
- ケーブルカッター刃交換時は、刃に
触れない。
けがのおそれがあります。

- 本体を雨や水のかかるところで使用しな
いでください。故障の原因になります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度
が下がってからご使用ください。
- 高圧線の近くなど、電磁波の多いところ
では誤動作をおこす可能性があります。
誤動作がおきた場合は、電池パックを
取りはずして再度取り付けてください。

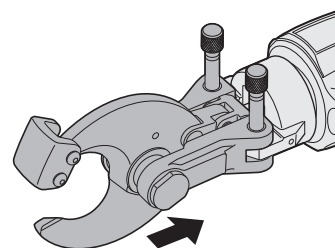
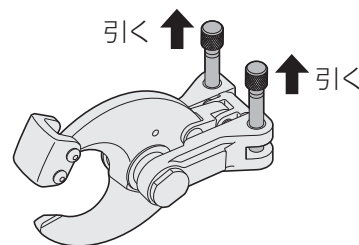
1 ピストンロッドの動きが止まる まで、リリースレバーを押し込 んでください

- ※ケーブルカッター刃の取り付け、
取りはずしの際は、必ずこの作業
を行なってください。

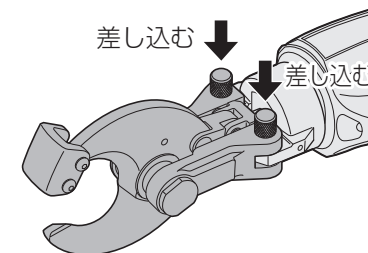


2 ケーブルカッター刃を 取り付ける

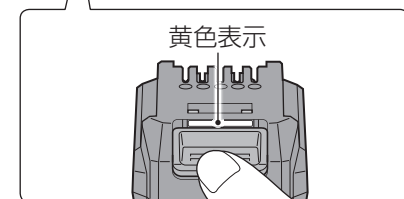
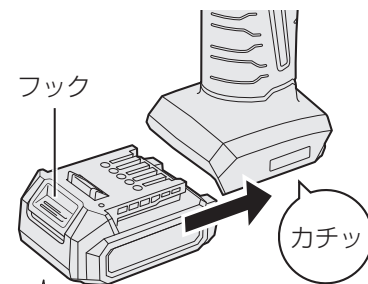
- ①脱着ピンを引き出し、ケーブル
カッター刃を差し込む。
※刃の取り付けかたに向きはあり
ません。



- ②脱着ピンが突き当たるまで、確実
に差し込む。



3 電池パックを取り付ける



- 黄色表示が見えなくなるまでスラ
イドさせ、カチッとフックがかかる
音がするまで押し込み、はずれない
ことを必ず確認してください。

警告

- 作業中は可動部に触れない。
けがのおそれがあります。

1 スイッチを引き込み切断する

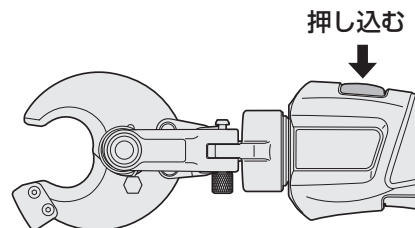
- 切断対象外の線材
 - ・素線径φ0.6 mm未満の線材
 - ・銅、アルミニウム以外の線材
(ピアノ線、ACSR、鋼線、鉄線など)
- ケーブルの種類により、介在物等
が切れ残る場合があります。
- 切断面はフラットではありません。
- 作業中刃が開かなくなったときは、
介在物が刃のすき間にかみ込まれ
ている場合があります。その場合
は、電池パックをはずして、介在物
を取り除いてください。
- スイッチを離すとLEDライトが
10秒間点灯します。

警告

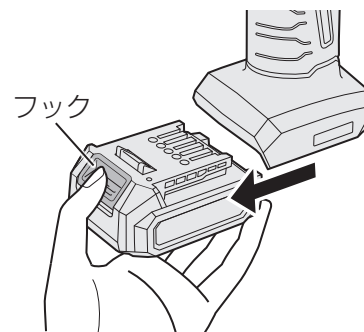
- LEDライトを懐中電灯として使用
しない。
十分な明るさを確保していないため、
このライトを使って暗い場所を移動
すると事故のおそれがあります。
- LEDライトの光を直接目に当てない。
LEDライトの光が連続して目に当た
ると目を傷める原因になります。

- 電池残量が少ない状態で起動する
と、LEDライト点滅での電圧降下
お知らせをせずに本体が動かなくな
る場合があります。電池残量が
不足していますので、電池パック
を充電してからご使用ください。
- リチウムイオン電池パックの使用
温度範囲は0℃～40℃です。
寒冷地などで0℃以下に冷えた電
池パックをそのまま使うと、本体が
正常に動作しない場合があります。
このときはご使用前に電池パック
の温度を上げるために10℃以上
の場所に1時間以上放置し、電池
パックの温度が上がったあとで使
用してください。

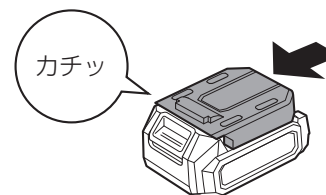
2 リリースレバーを押し込み 刃を開く



1 フックを引きながら電池パック を本体前方にスライドさせて、 電池パックをはずす



- 電池パックを本体から取りはずし
たら電池端子部分への塵・埃の付
着防止のため、すみやかにパック
カバーを取り付けてください。



パックカバーをスライドさせて
フックがカチッと音がするまで
押し込む

お手入れ

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)

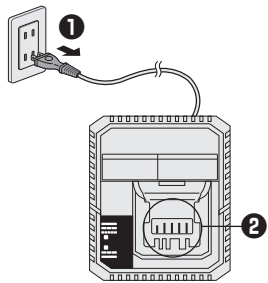


定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが破損していないか定期的に点検してください。

充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

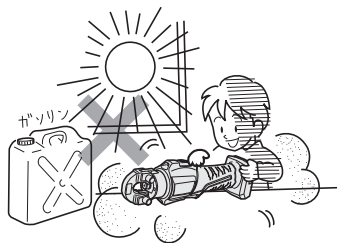
- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② 電池パック装着部のゴミを取り除く
ブラシなどで端子に無理な力がかからないように取り除いてください。



保管

以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所
- 落下のおそれのある場所

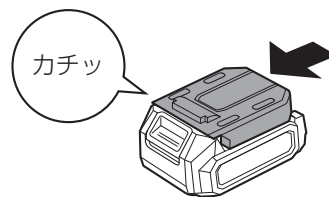


⚠ 危険

- 当社充電工具および当社が認めた充電工具以外に使用しない。
- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
- 改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付け。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、**充電せずに保管**してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。



パックカバーをスライドさせてフックがカチッと音がするまで押し込む

- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。
- 本体や充電器に取り付けたまま長期間放置しないでください。

電池パックの寿命

寿命の目安／処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。
当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したりリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないで買い求めの販売店へお持ちください。(電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。)
※EZ1W31Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。



本製品の使用電池

- 名称: 密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧: 3.6 V
- 数量: EZ8L1020FA 3本

電池パックを使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用前に	フル充電

能力

作業量

1回のフル充電による使用能力(EZ8L1020FA使用時/周囲温度20℃)

●数値は目安です。電池パック性能の変化、電線・端子・スリーブの種類により、多少変動します。

<圧着作業量>

種類	公称断面積	圧着回数
CV線(単心)	14 mm ²	約470回
	22 mm ²	約280回
	38 mm ²	約230回
	60 mm ²	約160回

<切断作業量>

種類	公称断面積	切断回数
CV線(単心)	200 mm ²	約90本
CVT線(3心)	38 mm ² × 3心	約110本
VVR(3心)	38 mm ² × 3心	約110本

適応用途

<圧着仕様時>

圧着範囲	14 mm ² ~ 60 mm ²
------	---

<ケーブルカッター仕様時>

最大切断能力	CV線(2心)	60 mm ² (φ29)
	IV線(単心)	325 mm ² (φ29)
	VVR(3心)	38 mm ² (φ28)

仕様

本体

	圧着仕様時	切断仕様時
モータ電圧	DC 10.8 V	
公称出力	42 kN	—
口径	—	φ30 mm
切断可能最小素線径	—	φ0.6 mm
大きさ(概略寸法) 全長×全高×全幅 (mm)	EZ8L1020FA装着時: 329 × 103 × 70 (圧着ダイス装着時)	EZ8L1020FA装着時: 421 × 108 × 70 (ケーブルカッター刃装着時)
質量(重量)	EZ8L1020FA装着時: 約2.1 kg (60 mm ² ダイス装着時)	EZ8L1020FA装着時: 約2.85 kg

充電器(EZ7L10A)

電源	AC100 V 50/60 Hz	消費電力	約60 W	質量(重量)	約640 g
----	------------------	------	-------	--------	--------

充電可能な電池パック	電池パックの種類		リチウムイオン電池
	電池電圧	10.8 V	EZ8L1020FA
	充電時間	実用	約35分
フル		約45分	

●充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。

故障かな？と思ったとき

下記の点検と処置をお願いします。

処置後なお異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
保証書と、本体・充電器・電池パックをお買い上げの販売店へご持参ください。
(詳しくは **P31参照**)


	症 状	考えられる原因	処 置
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。テレビ・ラジオから離して充電する。
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	充電中に保護待機中の状態になる。 [*] (オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が57℃以上になっている。 電池パックの温度が4℃以下になっている。 [*]	周囲温度が4℃~40℃の場所で充電する。4℃~40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
作 業 時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(本体LEDライトが点滅)	本体または電池パックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体または電池パックの温度が下がってから使用する。
		電池パックの温度が4℃以下になっている。	電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。

^{*} 電池パックの温度が9℃以下で保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P13参照**

	症 状	考えられる原因	処 置
作 業 時	動かない。または動いてもすぐ止まる。(本体LEDライトが点滅)	電池パックを充電していない。	充電する。 P12参照
		電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	フル充電しているのに作業量が少ない。	温度が低い場所(4℃以下)で保管した電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了後に使用する。
		電池パックの寿命。	新しい電池パックを購入する。 P11参照
	きれいに圧着または切断できない。	ダイス・ケーブルカッター刃が消耗・摩耗している。	新しいものと交換してください。 P11参照
	本体LEDライトによる状態表示が正しくない。	高圧線の近くなど、電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。ただし電子回路の誤動作により予期せぬ動作をする可能性がありますので使用しないでください。
圧着した端子・スリーブに圧着マークがしっかり表示されない。	メスダイス刻印部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。	
	圧着完了ラインが完全に見えない。	充電する。 P12参照	
リリースレバーの押し込みががたくてピストンロッドがもどらない。	圧着を中断したため油圧が高まり、がたくなっている。	「ボン」と確認音がするまでスイッチを引き込んでください。または、両手で強くリリースレバーを押ししてください。	

症 状	考えられる原因	処 置
作業時 動かない。または動いてもすぐ止まる。(ピストンロッドが上昇しない)	リリースレバーを押し込んでいる。	故障ではありません。
	一時的に油圧がかかりにくくなっている。	スイッチとリリースレバーを交互に何度か押ししてください。

症 状	処 置
その他 ●電源プラグをコンセントに差し込んでも充電状態ランプのグリーンとオレンジの両方が1回点滅しない。 ●充電開始直後に充電状態ランプが点灯・点滅しない。または、充電状態ランプが「充電中」(グリーン:点灯)と「満充電」(グリーン:点滅)を繰り返して表示する。 ●「保護待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ●「充電中」(グリーン:点灯)後、2時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。	ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご持参ください。

愛情点検	長年ご使用の充電圧着器の点検を	
	こんな症状はありませんか？ ・本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。 ・充電器のコードが損傷している。 ・動作中に異常な音がある。	お願い 故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話 ()	—
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは
28～30ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	充電圧着器
●品番	EZ1W31 (F10S・X)
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体・充電器6か月間(ただし、電池パック・ディスク・ケースは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)
工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。
※本体については、保証期間の6か月間以内であっても作動回数が10000回を超えた場合は、保証対象外とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電圧着器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

保証とアフターサービス(つづき)

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト
<https://sumai.panasonic.jp/support/>



? 使い方・お手入れなどのご相談 【受付時間】
365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様相談センター

フリーダイヤル パナは ナットク **0120-878-709** ■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合
06-6906-1109

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
■ FAX フリーダイヤル
0120-872-460
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ライフソリューションズ 修理サービスサイト
<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



🔧 修理に関するご相談 【受付時間】 月~土/9:00~19:00
日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナニ イコー **0120-872-150** ■ 左記電話番号がご利用
いただけない場合
06-6906-1090

- ※ 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ※ ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2021

EZ90101W3101 Y0521-0